



浄興寺大門通り修景整備基本計画

令和7年7月 上越市

# 目次

## 第1章 はじめに

- 1 計画の位置づけ ————— 1
- 2 景観形成に向けて ————— 3
- 3 浄興寺大門通りの歴史とこれまでの取組 ————— 4

## 第2章 現状調査

- 1 現地調査・現状把握 ————— 5

## 第3章 他市事例

- 1 門前通り・参道の事例 ————— 11
- 2 景観まちづくりの事例 ————— 12

## 第4章 地域の意見集約

- 1 ワークショップ ————— 13
- 2 アンケート調査 ————— 16

## 第5章 整備計画

- 1 修景コンセプト ————— 18
- 2 整備方針 ————— 20
- 3 ゾーニング ————— 21
- 4 整備・取組一覧 ————— 22
- 5 主な修景整備と種類 ————— 23
- 6 段階的整備 ————— 27

## 第6章 景観づくりのポイント

- 1 浄興寺大門通り景観ポイントブック ————— 28

# 第1章 はじめに

## 1 計画の位置づけ

本計画は、上越市通年観光計画に登載した高田地域における寺町エリアの施策展開に基づき策定する個別計画です。

### (1) 上位計画

上越市通年観光計画（上越市）

#### ①策定年月

令和6年4月

#### ②計画期間

令和6年度～令和12年度

#### ③計画概要

地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図るとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承するため、春日山、直江津、高田の3つを重点取組地域とし、その地域の特性に沿った施策展開をまとめた。

#### ④基本方針

ア 通年観光の考え方

目指す姿：歴史・文化の伝承

目的（あるべき姿）：来訪者が市民の日常に溶け込み楽しむ観光地域

目標（具体的指標）：繁忙期（4月、7月、8月）以外の入込客数の底上げ

手段（目標を達成するための方法）：観光地域づくり

イ 上越市の観光地域づくりの概要

（ア）「まち・暮らしづくり」と「新しい観光産業の創出」の両立を図る。

（イ）1日からの住民をまちに迎える。まずは、日帰り観光から1～2泊の宿泊観光を目指す。

（ウ）ビジネスが生まれやすいコンスタントな集客を目指す。

（エ）通年観光の効果が地域全体に及ぶよう取り組む。

#### ⑤計画目標

ア 当面目標とする通年観光のイメージ

「継続的な集客により民間ビジネスや観光サービスが生まれ始める状態」

イ 数値目標

3地域（春日山、直江津、高田）の月別観光客数（イベントを除く）を令和元年度比1.3倍

## 第1章 はじめに

### (2) 関連計画

『第一次 浄興寺大門通りまちづくりプラン-「祈りの道」としての大門通り-』  
(浄興寺大門通りまちづくり協議会)

#### ①策定年月

平成17年3月

#### ②基本理念

「祈りの道」としての大門通り

#### ③基本方針

「祈りの道」にふさわしい歩行者空間の創出と住民にとって快適な街並み空間の形成を目指す。

#### ④浄興寺大門通りの将来像

祈りの道としての大門通りの確立

#### ⑤まちづくりプランの実施各論

##### ア長期プラン

住むものにとって誇りのもてる、来街者も納得できる参道らしい景観の獲得のために、次の三点を時間がかかっても整備する。

(ア) 石畳

(イ) 電柱や架線のみえない風景

(ウ) 統一された景観と色調の街並み

##### イ中期プラン

見通しの悪く危険な交差点や融雪の問題、歩行者の安全確保、ゴミステーションの改善など、生活者・住民の不満点を一つ一つなくしていくようなプランを進めてゆく。

##### ウ短期プラン

まず住民に「浄興寺大門通り」を認知してもらい、「門前通り」ということを認知してもらうためのプランを実施してゆく。

(ア) 通り名サインボードの設置

(イ) 浄興寺の行事にあわせた、門前通りらしいイベントの実施 など

## 第1章 はじめに

### 2 景観形成に向けて

上越市では、令和6年4月に上越市通年観光計画を策定し、地域の歴史や文化を観光資源として磨き上げることにより、観光の活性化を図るとともに、持続可能な地域資源として後世に伝承していくことを目的に、各地域の特色に応じた取組を展開しています。

寺町においては、寺院の魅力向上と寺町全体の景観形成を目指す中で、浄興寺大門通りの修景整備を1つのモデル事業に位置づけており、良好な景観が豊かな生活環境をつくり出し、郷土に対する誇りや愛着を育むことにより、景観に対する機運が寺町全体に広がるとともに、寺町らしさを求める観光客でにぎわうことを目指しています。

このため、本計画とは別に、浄興寺大門通りまちづくり協議会の将来像である「祈りの道としての大門通りの確立」を実現するため、ワークショップでの意見を踏まえ、沿道の住民、企業、寺院の皆さま一人ひとりをお願いしたい気遣い、活動を景観ポイントブックとしてまとめました。

整備につきましては、この計画を基に関係者や地権者との協議を進め実現を目指していきます。

寺町は日本のパラダイス

北から南にかけて二キロメートルにおよぶ寺地がつづき、数百年の老杉の下に仏教の寺々が列をなして並んでいる。朝と夕、僧たちが読経に参向するとき、鐘の音はじょうじょうたる神秘的なひびきを伝える。私の家はこの寺のそばにあった、だから二、三步歩けば、この日本のパラダイスに達することができた。

テオドール・フォン・レルヒ少佐（「明治日本の思い出」中野理訳より）

## 第1章 はじめに

### 3 浄興寺大門通りの歴史とこれまでの取組

寺町の寺院をよく見ると、高田城築城以前の古い歴史と大変興味深い伝承を持つ寺院や他の地域の歴史がうかがえる寺院があります。これは高田城築城に伴って春日山城下や福島城下から寺院が移されてきた結果と領主が替わるたびに同行してきた寺院が残ったためです。

城下の西側に2列に配置された寺町は、南北2キロメートルにおよび、幕末まで塔頭を含めると130余の寺院があったといわれています。

しかし、明治維新の神仏分離や太平洋戦争後の農地解放により寺院の経済的基盤が失われ、少しずつ寺内に住宅が建ちはじめました。それでも現在、60を超える寺院があり、稀に見る寺院群を形成しています。

浄興寺大門通りの現在は、浄興寺の山門から本町通りまでつながる約522メートルの直線道路ですが、時代とともに延伸し現在の姿になっています。

- ・寛文5年（1666年）の地震後の、復興に伴う町の改変の中で、山門から現在の表寺町通りまでの通りができたと考えられる。
- ・明治21年（1888年）7月に表寺町通りから仲町通りまでの道ができる。
- ・昭和3年（1928年）5月に仲町通りから本町通りまでの道ができる。

（参考文献等：高田城下絵図、高田市史、高田市公報、上越市史）

市では、寺町の裏寺町通りと高田の本町通りを東西で結ぶ唯一の通りであることから、『高田街なか回遊サインマニュアル（H31.3策定）』において誘導ルートに位置づけ、高田地域の魅力向上と消費活動の促進に取り組んできました。

地域では、浄興寺が国の重要文化財に指定され、修復工事が完了したことを機に、浄興寺大門通りが位置する寺町2丁目、仲町3丁目、本町4丁目の各町内会と寺町・仲町まちづくり協議会、本町4丁目商店街振興組合の皆さまにより平成16年に「浄興寺大門通りまちづくり協議会」が発足されました。

協議会では、浄興寺大門通りの魅力あるまちづくりを目指し、景観と観光、商店街活性化につながる活動を目的に、まちづくりプランを策定し、景観形成に向けた活動やイベント等を実施してきました。



昭和3年5月（浄興寺大門だより創刊号より）

## 第2章 現状調査

### 1 現地調査・現状把握

#### (1) 交通量について

浄興寺大門通りは、裏寺町通りから本町通りまでを繋ぐ市道です。裏寺町通りから表寺町通りまでは相互通行、表寺町通りから本町通りまでは一方通行となっています。

周辺において、裏寺町通りから本町通りまで直線で通り抜けられる唯一の通りになっていることから交通量は比較的多い状況です。



#### (2) バリアフリーについて

全区間、路肩に視覚障害者誘導用ブロックが設置されていますが、剥がれや劣化がひどく、ところどころ分断されているところもあります。

以前、高田盲学校があったときに設置されたものと推測されます。

##### ①分断：歓喜橋



##### ②分断：踏切



##### ③分断：裏寺町通り交差点



##### ④割れ・欠け・劣化：通り全体



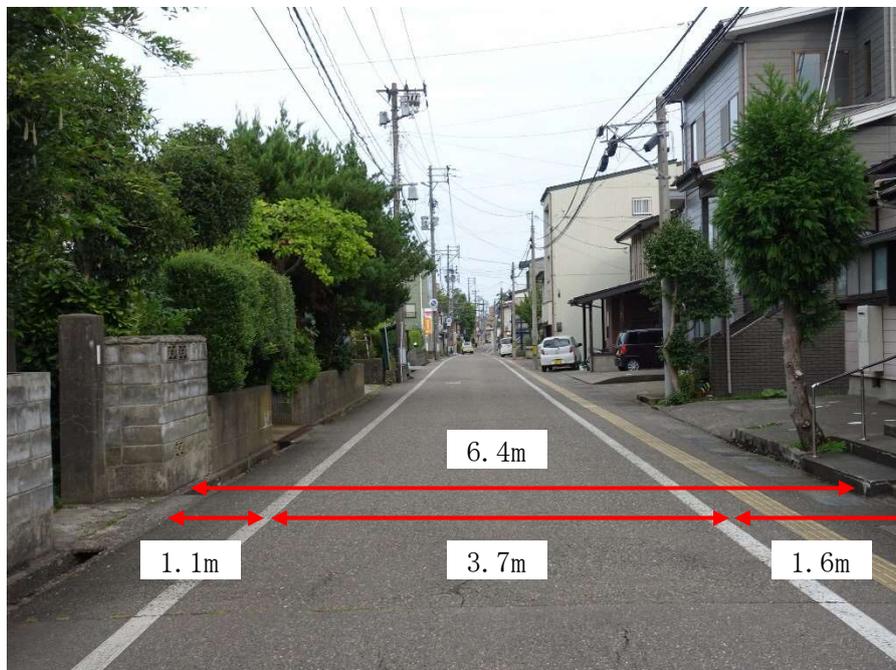
## 第2章 現状調査

### (3) 道路幅員（消雪パイプ・側溝含む）

道路幅員は、4.85m～7.3m程度で、表寺町通りから踏切までの区間の幅員が狭くなっています。また、路側帯の幅は、概ね1.5m～2.0m程度です。

	区 間	幅 員
1	裏寺町通り～表寺町通り	6.29m～6.65m
2	表寺町通り～踏切	4.85m～5.55m
3	踏切～仲町通り	4.90m～5.50m
4	仲町通り～本町通り	6.15m～7.30m

#### 1 裏寺町通り～表寺町通り



消雪パイプについては、表寺町通りから本町通りまで敷設されていますが、裏寺町通りから表寺町通りまでは、設置されていません。

#### 2 表寺町通り～踏切



#### 3 踏切～仲町通り



## 第2章 現状調査

### (4) 側溝

側溝幅は、一律ではなく、大きさの異なる側溝が設置されています。また、グレーチング柵も多く、側溝に蓋のあるところとないところが混在している状況です。

	区間	内容	
		北側	南側
1	裏寺町通り～表寺町通り	北側	乗り入れ部以外蓋なし
		南側	蓋あり・グレーチング柵が多め
2	表寺町通り～踏切	北側	長養館前は側溝なし
		南側	蓋ありと蓋なしが混在
3	踏切～仲町通り	北側	踏切側は側溝なし、浮喜世側蓋あり
		南側	宇喜世側の側溝には蓋なし
4	仲町通り～本町通り	北側	仲町通り～歓喜橋までは用水溝あり
		南側	側溝蓋あり

1 裏寺町通り～表寺町通り



2 表寺町通り～踏切



3 踏切～仲町通り



4 仲町通り～本町通り



## 第2章 現状調査

### (5) 舗装

道路舗装は全てアスファルト舗装です。消雪パイプが入っている区間があるため、景観舗装の種類によっては、茶色に変色することが考えられます。



## 第2章 現状調査

### (6) 電柱

下記の本数の電柱が設置され、歩行者の通行の妨げになっています。また、上空には電力会社や通信会社の配線が張り巡らされており、景観を阻害しています。

	区 間	本 数
1	裏寺町通り～表寺町通り	11本
2	表寺町通り～踏切	5本
3	踏切～仲町通り	9本
4	仲町通り～本町通り	5本

#### 1 裏寺町通り～表寺町通り (抜粋)



#### 2 表寺町通り～踏切 (抜粋)



#### 3 踏切～仲町通り (抜粋)



#### 4 仲町通り～本町通り (抜粋)



## 第2章 現状調査

### (7) 歓喜橋 かんぎばし

#### ①名前の由来と歴史

橋の名前は、浄興寺の山号「かんぎ ゆやくさん歓喜踊躍山」に由来していると思われます。

「教行信証」を完成させた親鸞聖人は、その喜びの気持ちを山号・寺号に表し、歓喜踊躍山浄土真宗興行寺、略して浄興寺と名づけました。



昭和38年頃と昭和44年竣工の現在の観喜橋

(浄興寺大門だより第10号より)

#### ②塗装色

測色は「JPMA2024年P版塗料用標準色見本帳ポケット版」を参照しました。

調査の結果は以下のとおりです。



	対象	色票番号	マンセル値	RGB	備考
親柱	①-1 	P12-70T	2.5YR7/10	251 139 91	現歓喜橋の色
	①-2 	P15-60V	5YR6/12	230 115 24	
欄干	②-1 	P12-70T	2.5YR7/10	251 139 91	現歓喜橋の色
	②-2 	P12-50V	2.5YR5/12	204 82 11	
	③ 	P07-40P	7.5R4/8	149 61 55	旧歓喜橋の色

## 第3章 他市事例

### 1 門前通り・参道の整備事例

#### ①永平寺（福井県永平寺町）

増加する訪日外国人の観光需要を見据えた永平寺門前の再構築プロジェクト。宿泊施設整備を中心に、旧参道の再生や近くを流れる永平寺川の景観整備などを実施。

福井県、永平寺町、曹洞宗大本山永平寺の3者が協力し、無電柱化・参道の石畳化、緑化の他、禅を体験する宿泊施設なども整備。

道路は、1600年代の古地図に基づいて旧参道が再生されました。

整備前



整備後



画像出典（上下）：福井土木事務所。（2022）. 永平寺門前の修景にあわせた河川整備.  
[https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyoutashizen/019a8v000003hq5-att/04\\_fukui.pdf](https://www.kkr.mlit.go.jp/river/kankyoutashizen/019a8v000003hq5-att/04_fukui.pdf)

#### ②神路通り（三重県伊勢市）

外宮北御門から月夜見宮をつなぐ300mの通りで、「神が通る道」という意味から神路通りと呼ばれています。地元では「道の中央は人は通らず」と伝えられており、中央部の舗装の色を変えることで表現しています。

画像出典：伊勢市観光協会。（2020）. 神路通り.  
<https://ise-kanko.jp/purpose/kamijidori/>

整備後



#### ③御所まち（奈良県御所市）

歴史的街並みが残っており、重要伝統的建造物群保存地区指定を目指しています。西御所と東御所があり、先行して西御所地区の道路の美装化（舗装整備）を実施。無電柱化などは厳しく舗装のみの美装化を実施しています。車道幅員が4m程度しかなく、協議で自動車の通行幅を2.5mまで狭くしました。

整備前



整備後



## 第3章 他市事例

### 2 景観まちづくりの事例

#### ①小布施（長野県小布施町）

北斎館周辺16,000㎡を居住空間、商工業空間を併せた回遊できる界隈に修景。小布施堂、小布施町、長野信用金庫の共同駐車場とし、イベント広場としても利用できる場所にしました。

景観を意識した町民が、歩調を合わせて「花」のまちづくりを展開。江戸時代から続く、「お庭ごめん」のもととなった「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」という精神を受け継ぎながら、各家庭の庭を開放する「オープンガーデン」が開催されています。



▲景観を守るために、従来の白線が描かれていない駐車場。地域住民で議論を重ねて決定



▲案内板は、「どうぞお入りください」の目印

## 第4章 地域の意見集約

### 1 ワークショップ

浄興寺大門通りの修景整備の検討にあたっては、沿道にお住まいの皆さまを中心としたワークショップを開催し、自らができる景観の取組も含め、門前通りらしい修景整備について話し合っていました。

#### (1) 開催概要

	日時	内容	会場	参加者数
第1回	令和6年9月29日（日） 13：30～17：00	浄興寺大門通りを歩いて、現状や困っていること等を話そう	寺町二丁目 町内会館	15人
第2回	令和6年11月13日（水） 18：30～20：00	学識経験者と一緒に門前通り、浄興寺大門通りについて考えよう		10人
第3回	令和6年12月11日（水） 18：30～20：00	先進事例を学び、私たちができることは何か、景観ルールについて考えよう、そして浄興寺大門通りのあり方について考えよう		11人
第4回	令和7年2月5日（水） 18：30～20：00	浄興寺大門通りの将来像について		9人



## 第4章 地域の意見集約

### (2) ワークショップでの意見一覧

No	区分	意見	対応策
1	景観・観光	祈りの道、門前通りの雰囲気がある道路舗装	道路景観舗装
2	景観・観光	電線、電柱の撤去	無電柱化（裏配線）
3	景観・観光	無電柱化（地中化又は裏配線）	無電柱化（裏配線）
4	景観・観光	歓喜橋の塗装	歓喜橋の塗装
5	景観・観光	道路や歓喜橋への照明の設置	景観照明の設置
6	景観・観光	ごみ集積所の外観の見直し	ごみ集積所塗装等
7	景観・観光	カーブミラー、道路標識の外観の見直し	カーブミラー、道路標識の塗装
8	景観・観光	案内看板に二次元バーコードを掲載し、通りや施設の歴史、案内等の映像をスマホで見ってもらう仕掛け	案内誘導看板の増設、二次元バーコードを掲載し、魅力や各種情報を発信する
9	景観・観光	駐車場情報や観光案内の充実、発信	案内誘導看板の増設、二次元バーコードを掲載し、魅力や各種情報を発信する
10	景観・観光	トイレや飲食情報の発信	案内誘導看板の増設、二次元バーコードを掲載し、魅力や各種情報を発信する
11	景観・観光	案内看板の増設	案内誘導看板の増設、二次元バーコードを掲載し、魅力や各種情報を発信する
12	生活	歩きやすい道路	側溝整備、車道・路側帯の幅員見直し、高低差の解消
13	生活	安心して歩ける歩道の整備	側溝整備、車道・路側帯の幅員見直し、高低差の解消
14	生活	歩行者優先の設計で車と歩行者が共存できる通り	側溝整備、車道・路側帯の幅員見直し
15	生活	冬期間の安全性の確保	側溝整備、車道・路側帯の幅員見直し、高低差の解消
16	生活	高低差、排水の改善	排水機能の確保
17	生活	側溝の蓋の設置	側溝整備
18	生活	消雪パイプの整備（裏寺町通りから表寺町通り）	消雪パイプの新設はできないため、融雪方法を検討
19	生活	堆雪空間の確保	沿道に空き地、市有地がないため、堆雪は難しい
20	生活	歩行者天国になる時間帯の設定	整備後の歩行者数、車両通行台数の変化を見て検討する

## 第4章 地域の意見集約

No	区分	意見	対応策
21	気遣い・行動	各家庭の外構や色の統一	住民側の取組（空間への気遣い）
22	気遣い・行動	板塀や生垣で景観を統一する	住民側の取組（空間への気遣い）
23	気遣い・行動	統一感のある景観づくり	住民側の取組（空間への気遣い）
24	気遣い・行動	アートや写真等の展示会の実施	住民側の取組（人の行動）
25	気遣い・行動	住民と寺院が協力したイベントの実施	住民側の取組（人の行動）
26	気遣い・行動	挨拶の恒常化	住民側の取組（人の行動）
27	気遣い・行動	自宅前にベンチやプランターを設置	住民側の取組（人の行動）
28	気遣い・行動	四季折々景観を楽しめる草木の整備	住民側の取組（人の行動）
29	気遣い・行動	季節ごとに植える花を統一する	住民側の取組（人の行動）
30	気遣い・行動	風鈴等のワンポイントの飾り	住民側の取組（人の行動）
31	気遣い・行動	自助努力が進むようなしかけづくり	住民側の取組（人の行動）
32	気遣い・行動	定期的な沿道の清掃や除草	住民側の取組（人の行動）
33	気遣い・行動	自主的なごみ拾い	住民側の取組（人の行動）

## 第4章 地域の意見集約

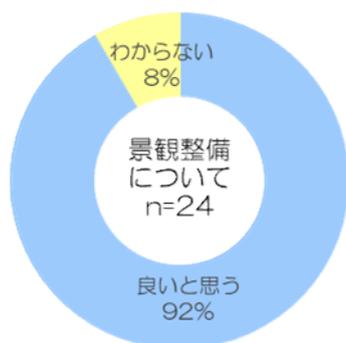
### 2 アンケート調査

浄興寺大門通りの沿道にお住まいの方、企業、寺院の皆さまに、浄興寺大門通りの修景整備や景観ルール、協力意向等について調査を実施しました。

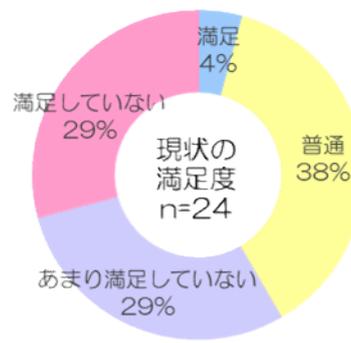
実施期間	令和6年9月18日（水）～10月31日（木）
配布／回収方法	手渡しによる配布／郵送・2次元コードによる回収
配布／回収状況	配布枚数：48通／回収数：24通（回収率：50%）

以下、一部抜粋

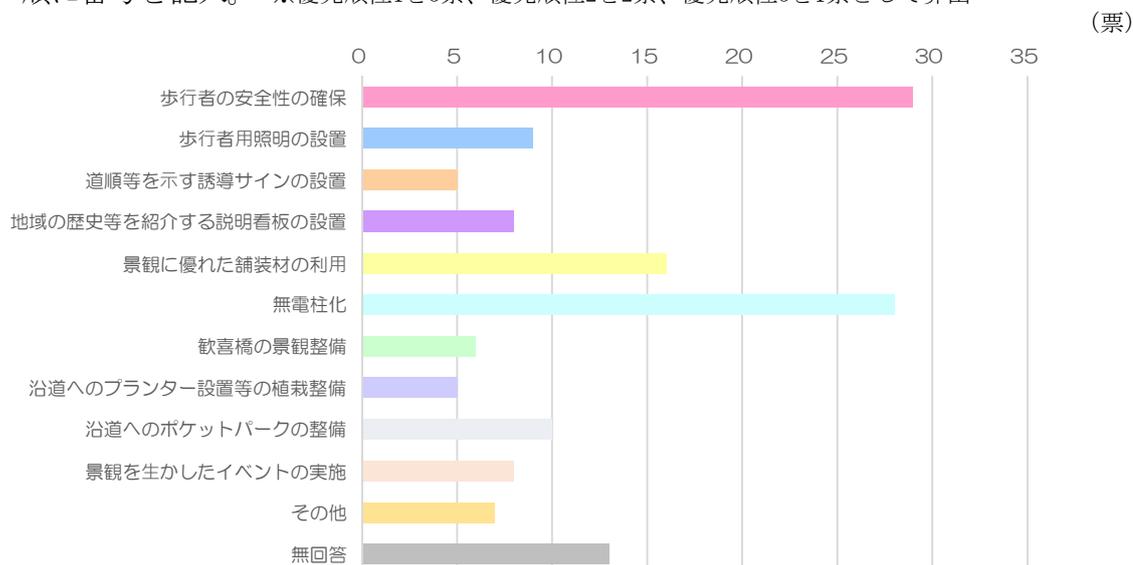
問2 通年観光計画では浄興寺大門通りについて、道路、電柱・街灯、橋などをきれいにして門前通りの雰囲気を感じられる景観整備を進めることとされている。それについてどう思うか。



問4 浄興寺大門通りの現状(景観・雰囲気)に満足しているか。



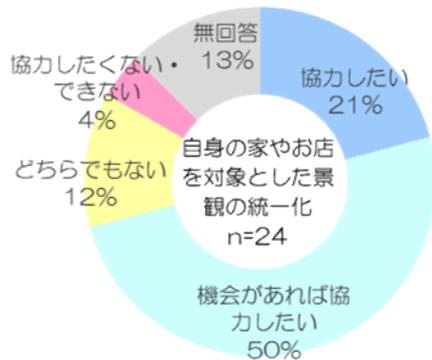
問7 浄興寺大門通りの整備を行うにあたり、重要だと思う項目を下記表から選び、優先順に番号を記入。 ※優先順位1を3票、優先順位2を2票、優先順位3を1票として算出



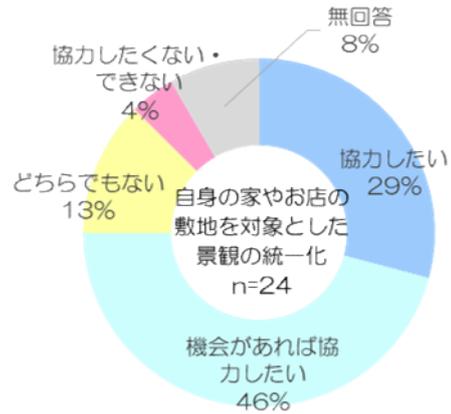
## 第4章 地域の意見集約

問8 今後景観整備を行う場合の協力意向

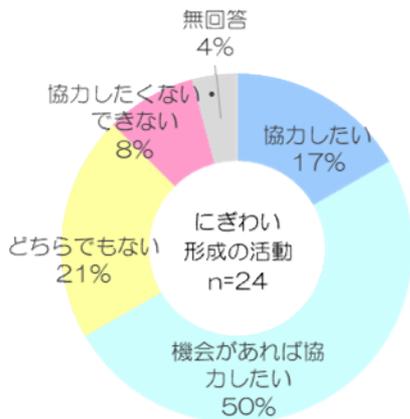
問8-1 自身の家やお店を対象とした  
景観の統一化  
(堀や屋根の統一など)



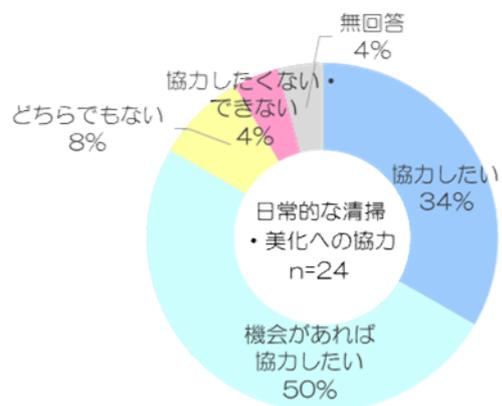
問8-2 自身の家・お店の敷地を対象  
とした景観の統一化  
(緑化やプランターの設置など)



問8-3 にぎわい形成の活動

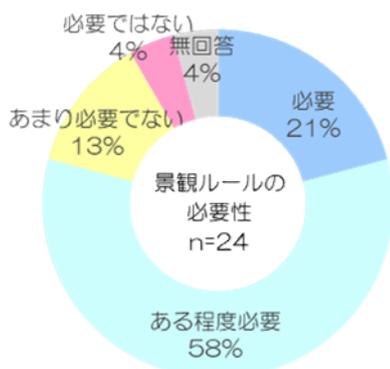


問8-4 日常的な清掃・美化への協力

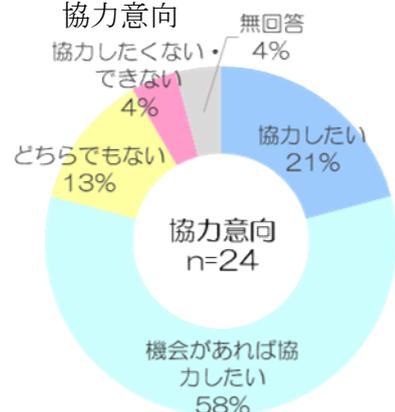


問9 景観づくりを進めていくうえで景観ルールが必要か。

問9-1 景観ルールの必要性



問9-2 景観ルールを制定した場合の  
協力意向



## 第5章 整備計画

### 1 修景コンセプト

#### 基調

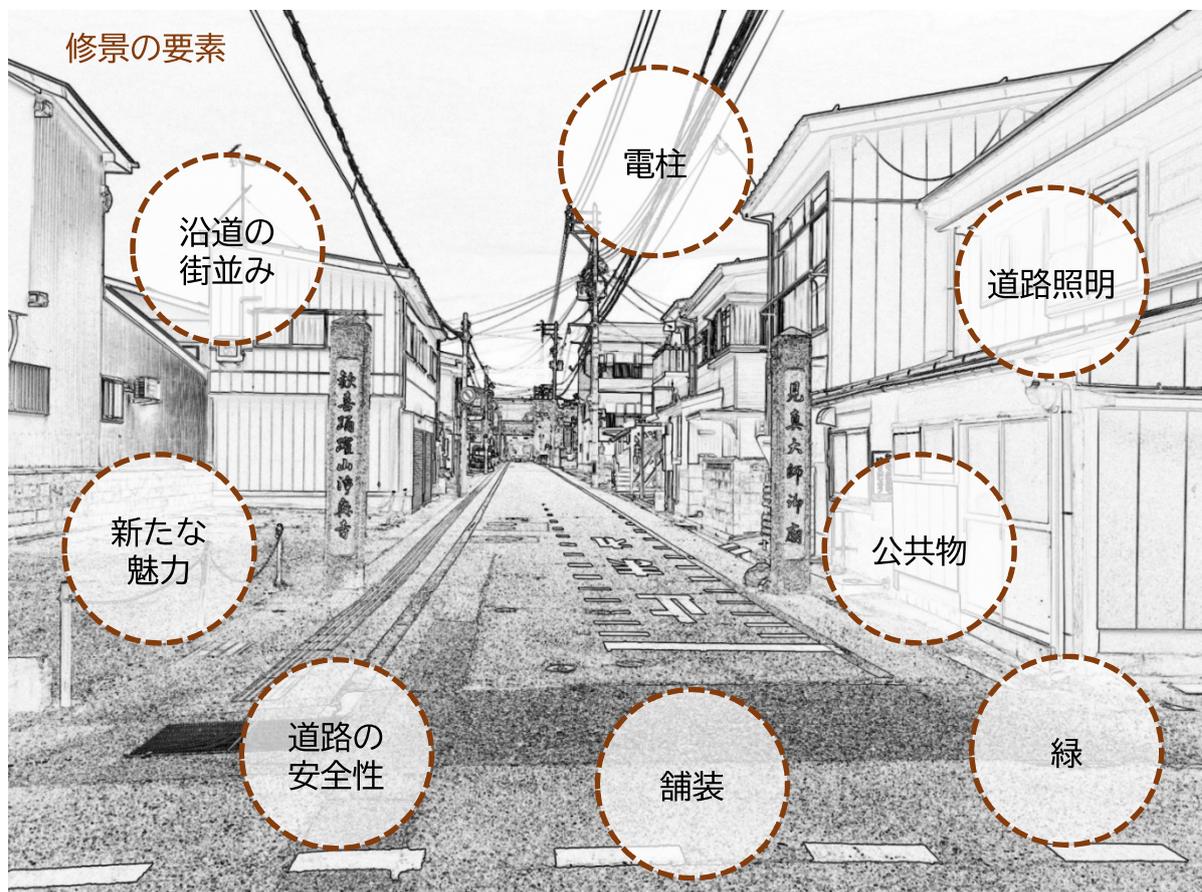
歴史的街並みをイメージさせる、  
アース系カラーを基調とした安らぎや暖かみを感じる道

#### アクセント

沿道の皆さまの協力による緑や塀の統一

#### 新たな魅力

地域主体のイベント活動の展開  
活動を通じて、共助の精神を次世代へ継承



## 第5章 整備計画

### 修景後イメージ



## 第5章 整備計画

### 2 整備方針

市では住民の皆さんの「こんな通りにしたい」という思いを実現するため、いただいた意見を基に生活面や住民側でできる気遣い、行動も含めた整備方針をまとめました。

現時点で実現が難しい内容も将来を見据え検討を行うとともに、沿道の住民、企業、寺院の皆さまと連携して取り組める整備を目指します。



将来像

住民と来訪者にとって魅力あふれる祈りの道

#### 整備方針1 歩いて美しい祈りの道【景観・観光面】

- ・舗装を改修し、美装化を目指す。
- ・風景に煩雑な印象を与えている電柱電線の無電柱化を目指す。
- ・景観照明の設置を検討し、門前通りとしての雰囲気を出す。
- ・その他公共物の外観を見直す。（ごみ集積所、カーブミラー等）
- ・寺町の歴史や通りの案内看板を設置し、魅力発信や回遊性を図る。

#### 整備方針2 居住空間としての祈りの道【生活面】

- ・歩行者と車を分離し、人に優しい安全・安心な道とするため、車道・路側帯の幅員を見直す。
- ・歩きやすさを重視し、高低差や水たまりの解消を図るとともに、安全な側溝の整備を目指す。
- ・消雪設備の排水経路や能力等を検証し、融雪整備の実現性を検討する。

#### 整備方針3 共助の力を育む祈りの道【気遣い・行動面】

- ・公共物の修景だけではない魅力的な通りとするため、住民主体の景観ルールを検討していく。
- ・まずは一人ひとりができる気遣いや行動を景観ポイントブックとしてまとめる。  
例) ・花や風鈴など四季を楽しめる空間の創出  
・建物の外観、外構の統一感の演出

## 第5章 整備計画

### 3 ゾーニング

浄興寺大門通りは、裏寺町通りから踏切の住宅エリア、仲町通りから本町通りまでの商業エリアと大きく2つに特徴が分かれており、さらに、門柱や橋、踏切があることで、区間の印象が異なることから、それぞれの空間の特徴をいかした修景整備や取組が必要だと考えています。



出典：国土地理院地図

①裏寺町通り～表寺町通り



②表寺町通り～踏切



③踏切～仲町通り



④仲町通り～本町通り



## 第5章 整備計画

### 4 整備・取組一覧

実施主体	市 関係機関	景観・観光・生活
		無電柱化（裏配線）
		歓喜橋の塗装
		景観照明の設置
		公共物（ごみ集積所、カーブミラー等）の修景
		案内・誘導看板の増設（二次元バーコード掲載）
		道路景観舗装
		側溝整備
		車道・路側帯の幅員見直し
		排水機能の確保
		融雪方法の検討（裏寺町通りから表寺町通り）
歩行者天国の検討		
実施主体	住民 企業 寺院	気遣い、行動
		空間への気遣い
		人の行動

## 第5章 整備計画

### 5 主な修景整備と種類

#### 側溝整備

種類	イメージ	特徴
① スリット側溝 (管渠型) <small>かんきよ</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>管渠型のため、蓋のがたつき等は発生しない。</li> <li>バリアフリー乗入れ一体構造で経済性に優れる。</li> <li>乗入れ部は滑り止め加工</li> <li>景観性に劣る。</li> </ul>
② スリット側溝 (景観型)		<ul style="list-style-type: none"> <li>側溝上部に舗装を敷設可能</li> <li>地表に露出する部分が少なく、意匠性に優れる</li> <li>スリット部が官民境界部となり、歩行空間を最大限確保することが可能</li> </ul>
③ 化粧蓋側溝		<ul style="list-style-type: none"> <li>蓋上部に舗装材を充填できる排水溝蓋</li> <li>クッション付受枠で、がたつきや音の発生を防止できる。</li> </ul>

浄興寺大門通りは、幅員が狭く歩道幅員が十分に確保できず、加えて、側溝は、開渠型も多く、歩行者が落ちる可能性があります。歩行者の安全・快適な歩行空間確保のため側溝蓋を設置することは重要です。道路の美装化に合わせて景観性の観点から上記の種類をあげています。なお、設計時には、雨水の流量計算が必要になることや蓋が柵のみになるため、使用用途や課題等を確認・検証しながら協議を進めます。

## 第5章 整備計画

### 道路景観舗装の種類

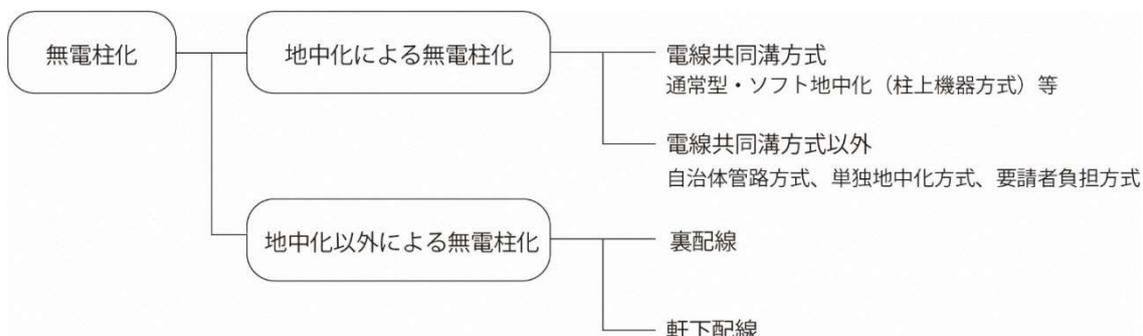
種類	イメージ	メリット	デメリット
①脱色アスファルト舗装		色のついた天然骨材を入れるため、自然な風合いとなる。	紫外線により劣化し、水による骨材剥離が出てくる。
②カラー骨材混入アスファルト舗装		カラー骨材により景観性が向上する。	自然石ではないため、やや景観性が劣る。
③型押しアスファルト舗装		いろいろな模様と色が選べ、デザインの幅が広い。	人工的な色のため、景観性はやや劣る。
④ホットロード舗装		単粒度砕石を上から撒いて石の模様をつけるため、動きが出てくる。	自然石ではないため、やや景観性が劣る。
⑤半たわみ舗装		ブロック舗装のようなサイズでの切込みや色もデザインの幅も広い。	他と比べて費用が高い。

道路の構成要素の中で、最も面積を占める舗装は、視覚への影響が大きく、道路の印象を特徴づける最も基本的なものです。消雪パイプのある区間は地下水の鉄分により茶色く変色することも考慮し、色味を選択する必要があります。

また、ゾーニングによる空間の特徴をいかした舗装、色味を検討していきます。

## 第5章 整備計画

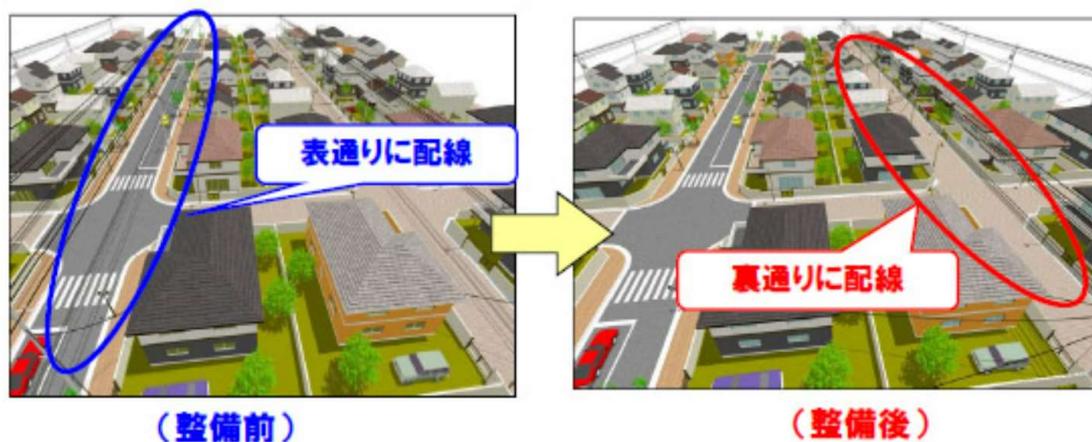
### 無電柱化（裏配線）



無電柱化には、地中化によるものと、地中化以外による無電柱化があります。地中化による「電線共同溝方式」は事業費が約5.3億円/kmとされています。

（国土交通省「市街地開発事業における無電柱化推進のためのガイドライン」より）

浄興寺大門通りでは、コスト面や電柱の維持管理、実現性等を考慮し、「裏配線」による無電柱化の実施を検討していきます。



裏配線は、家屋裏側に電柱を移設し、通り正面から電柱を出来る限り見えなくし、建物や道路照明に配線する方法です。

電気の引込口の変更や新たな場所に電柱を移設する必要があるため、沿道の皆さま、地権者さまからの協力が必要になります。

## 第5章 整備計画

### 歓喜橋の塗装

	案1	案2	案3
			
概要	現状の歓喜橋の色	旧歓喜橋の色	ブラウン系の色
色表番号	P12-70T	P07-40P	P09-30F
マンセル値	2.5YR7/10	7.5R4/8	10R3/3



歓喜橋の塗装については、先行して実施するためワークショップにおいて色の検討を行いました。

参加者からは「現在の色の理由を踏まえて決めたい」との意見がありましたが、浄興寺との関連性や歴史的理由は史料がなく判明しませんでした。

結果ワークショップの意見を参考に、目立ちすぎず地味すぎず、程よく主張する品がある色という理由で、案2の旧歓喜橋の色に決定しました。

## 第5章 整備計画

### 6 段階的整備

本計画では、景観に資する修景整備のほか、生活面での改修や整備、観光客へのおもてなしや住民一人ひとりの行動に至るまで、網羅的に取組をまとめました。

そのため、全てを実現するためには住民の皆さまの理解や協力はもとより、多額の整備費が必要になることから、終期を定めず将来的に目指すべき姿として段階的な整備を目指します。

整備については、今回定めたゾーニングのエリアごとに整備することを基本とし、その順番については、沿道の住民、企業、寺院の皆さまをはじめ、関係者、地権者の皆さまと十分協議を重ね決定していきたいと考えています。



出典：国土地理院地図

## 第6章 景観づくりのポイント

### 1 浄興寺大門通り景観ポイントブック

浄興寺大門通りのより良い景観づくりのためには、建物の外観や外構など、街並みを構成する「空間への気遣い」とにぎわいや癒しを与える「人の行動」、それらを「継続」していくことが重要です。

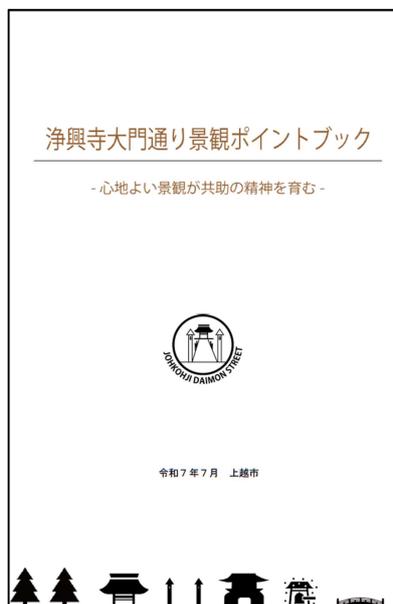
今回、「沿道の景観を良くしたいという気持ちがあるものの、やり方が分からない。」ときに手に取っていただく「景観ポイントブック」を作成しました。

この景観ポイントブックは、あくまでも任意の取組ですが、一人ひとりの「まちを変えたい」という気持ちが行動に変わると大きな変化につながります。

沿道の皆さまに手に取っていただき、良い景観を維持・向上していくために自分たちができることを考えるきっかけにさせていただきたいと思っています。



別冊





浄興寺大門通り修景整備基本計画

令和7年7月策定

発	行	上越市
編	集	上越市文化観光部魅力創造課
		〒943-8601
		上越市木田1-1-3
		TEL 025-520-5739
		FAX 025-520-5853